

子ども祭

7月25日、はなこみち5周年記念として子どもまつりが開催されました。

当日は暑い中、地域の方々やボランティアの方々にお手伝いをいただき、焼きそば、かき氷、スマートボールに輪投げ、わたあめなどの出店が並んで子どもたちは大喜びでした。また、日ごろ子どもたちもお世話になっている深谷太鼓の皆さんの演奏、近隣高校のチアリーディング部の演技にも子どもたちは夢中になっていました。

さらにさらに飛び入り参加の女の子ユニット有志によるダンス披露もあり、子どもまつりは盛り上がりを見せました。



チャレンジキャンプ

～中・高生～

今夏の中高生宿泊体験は、8月8日（月）から2泊3日で、能登半島に行きました。道程は8時間耐久ドライブでしたが（井野さん、治さん、お疲れさまでした）、車中では音楽を聴いたり話に華をさかせたりしながら、無事到着。磯辺や海水浴場で、能登の海を満喫しましたが、日焼けで肌がヒリヒリすると悲鳴をあげていた人も・・・。宿泊先では、皆、礼儀正しく過ごせていたようです。女将さんが、「ごちそう様なんて声をかけてくれたお客さんは初めて！この子たちの誰かが、そのうち手伝いに来てくれたらなあ」と漏らしていたようです。従業員の女性が教えてくれました。外向きの顔もできるんだと安心しました。

～小学生～



小学生グループは、新潟県の角田浜に夏休みの宿泊体験に行ってきました。1日目は楽しみにしていた海遊び！防波堤まで泳いだり、カニを捕ったり、大きな砂山を作ったり大人も子どもも時間を忘れて遊びました。夕食は子どもが中心になり「火起こし」からのカレー作り、「普段の何倍もおいしくできた」と大満足でした。2日目は、あいにくの雨で海遊びが中止になりましたが、水族館「日本海マリンピア」に行ってきました。普段はテレビや図鑑で見ているイルカやラッコ、夕食の献立で出てくる苦手な魚を実際に目の当たりにし、大興奮！くらいつように水槽を眺めている姿がとても印象的でした。1泊2日の旅行になりましたが、14人それぞれの夏休みの良い思い出の1つになったのではと思います。

～幼児～



1泊2日で東京ディズニーランド・シーへ行ってきました。普段味わうことのできない、ワクワク・ドキドキを味わうことができたようです。子ども達の笑顔を見て充分に感じる事ができました。非現実的な世界、夢の世界をこの2日間で体験し、夢を育めたのではないのでしょうか？1泊2日と短い時間でしたが、子ども達の心には大切な思い出として残っていることを願っています。このような機会を与えることができ嬉しく思います。

アファン

の森

7月26日～28日の3日間
4施設合同で長野県にあるア
ファンの森に行ってきました。
はなこみちからは6人が
参加しました。各々人の手が
加えられていない大自然を
満喫しました。今回は参加し
た2人に感想を聞きました。

カルテット合同キャンプ

7/21～7/24の3泊4日で児童養護施設カルテットのお誘いでキャンプに参加させていただきました。はなこみちからは子ども10人参加させていただきました。木登り・一人で山道を歩く・半日かけてのぼった沢登り・夕食作りなどをしましたが、印象に残っているのは、初日に子ども一人ひとりで自分だけのテントを作る作業です。見本もなく自分達で悪戦苦闘して作っていた印象がありました。自分だけの空間と言う事もあり、できた時の満面の笑みは忘れられません。今回のキャンプで子どもたちには「自分のことは自分でできる限りやる」という精神が付いた気がしました。貴重な体験ができたと思います。



親善球技大会(ソフトボール)



8月23日に県内の児童養護施設対抗のソフトボール大会がありました。この大会に向け、はなこみちでは6月から練習をしてきました。しかし結果は1回戦敗退と残念な結果に……。しかし、試合で練習の成果がでた子、緊張でいつもの実力が出せなかった子といましたが、みんなで1つのボールを皆で追いかけて、喜んだり、怒ったり、悔しがったことは、子どもたちにとって大きな経験になったと思います。この経験を生かし、来年の大会ではもっといい結果が出せるように頑張っていきたいと思います。大会の主催者の皆さまお世話になりました。

交通安全(8月)

8月日深谷警察署より2名来援して頂き、夏休み中、また日々の為の防犯講座を子どもたちにして頂きました!!質問をしたり、問題に答えたり、最後には防犯ブザーも配られ、使い方を復習している姿も見られました。



ユニットから



ぷちトマト(混合ユニット)

内田 菜々穂

夏休み中は、毎日ユニットの中に居るせいか、「つまらない、つまらない」と、騒がしい日々を送っています。ソフトボール大会も終わり、ほっとしたかと思いきや、「夏休みの宿題が終わらない…」と、職員も大騒ぎです。

ぷちとまとユニットで大きく変わった事と言えば、A(小4男児)の退所です。素敵なお母さんとめぐりあうことが出来、職員一同ほっと胸をなでおろしています。今まで、一緒に過ごしてきた子どもと別れるのは、正直寂しさを感じますが、子ども自身のこれからの将来を考えたら、とても喜ばしい事です。

2学期が始まり、心配な事は沢山ありますが…。これからも、子ども達と日々の成長を感じながら、毎日楽しく過ごして行けたらと思います。

もろこし(女子ユニット)

木部 苑子

夏休みに入り、ソフトボール・プール・旅行などと、もろこし美女13人の肌は、水着のあとがくっきりとわかるぐらいに真っ黒になりました。特に中高生の旅行では天気が良く楽しかったようで、お年頃の女の子たちの顔も赤くヒリヒリ1皮も2皮もむけていました。

また、ソフトボール練習はキャプテンを中心に、水分作りから気合が入っていたように思います。試合では、男の子に負けなぐらいの大きな声を出し、プレーや応援を頑張ってくれました。

もろこし13人、1人ひとりに良い思い出ができた、夏休みだったと思います。

かぶらユニット(小規模)

福田 恵

長い夏休みが終わり、6名の子ども達と一緒に何とか無事に新学期を迎える事が出来、日々有り余るパワーを発揮しています。

夏休み中は、施設行事や地域行事へ積極的に参加したり、スポーツ少年団の練習や試合、大量の宿題等に追われ、職員、子どもともに日々大騒ぎでした…が、一人一人の子ども達が心身共に一回りも二回りも大きく成長したように感じます。

それぞれの子が期待と不安を抱えながら、また忙しい新学期が始まりましたが、子ども達と一緒に考え、悩みながら、一つ一つの壁を共に乗り越えていきたいと思っています。

心理療法室

古河 慎司

今回は部屋の構造などについて簡単に紹介をしたいと思います。

心理療法室は、日々使いやすいように工夫して模様替えを行っています。今は、部屋の半分カーペットを敷き、寝転がったり、動き回って遊ぶスペースを設けています。また、もう半分には机と椅子でゆっくりお話ができる空間、そして、箱庭を設置しています。箱庭はレースのカーテンを使い、少しでも別の空間となるように工夫しています。

カーペットゾーンのおもちゃの数がまだまだ少ない為、遊ぶ内容は限られてきてしまっていますが、これから増やして、カーペットゾーンも充実させていきたいと思っています。



(そらまめユニット)

小池旭夫

“そらまめ”ユニットは小学2年生～高校3年生まで所属している男子のユニットです。学校・部活に頑張っている毎日を過ごしています。部活動は、小学生は深西サッカー少年団。中学生はサッカー部・ラグビー部・美術部に所属している子がいます。中学生の部活は朝早くから夕方まで1日部活で帰ってくるなり「腹減った～」と言う子もいれば、へトヘトで、風呂へ入る元気もなくリビングで寝てしまう子もいます。この夏は暑かったのでみんな日焼けで真っ黒になったり、体つきも日々たくましくなっていたり、子どもたちの成長を目でみれることに嬉しさを感じている日々です。

そんな毎日精一杯頑張っている子どもたちがいる”そらまめ”ユニットで、今回紹介しようと思うのは小学生が所属している深西サッカー少年団での頑張りについてです。深西サッカーに所属している子どもは小3・小4・小6の3人です。この3人は去年の5月頃から入団しましたが、入団当初は団体での行動ができずにフラフラしてしまったり、練習中できない事があると「だってできないんだもん」と泣いて座り込んでしまったりと不安な日々ばかりでしたが、最近では、自分達で予定を見て「明日は〇〇小で午後から練習だ！」など自分達で準備もできるようになりました。練習でも「だって～」などと、いい訳ができないからと言って、泣いて座り込んだりという事は少なくなってきました。試合形式のゲームの時も「へい！パス！！」など大きな声を出して積極的にボールに向かう事ができてきています。スポーツを通して、団体での行動や相手の事を思いやる気持ち、もっと練習して上手くなるという向上心を身につける事ができてきた様な気がします。今でも、時には多少やる気や気持ちにムラはありますが、子ども達なりに考えて日々楽しく過ごす事ができている気がします。

このように”そらまめユニット”には、スポーツが好きな子が多いので、健康面にも気をつけて、これからも一層頑張っていってほしいと願う毎日です。



「創立 5 周年 支えてくれてありがとう」

施設長 八須信治

平成 19 年 8 月 13 日に、はなこみちを創設、本年、5 周年を迎えることができました。ご支援・ご協力をいただいた多くの方々に感謝申し上げます。

● 24 歳のとき、次世代育成支援施設を創ろうと決意

昭和 42 年頃、都市計画法の制定の動きがあり、将来、農業経営が難しくなると聞かされ、職住接近ということで、深谷市役所に勤務。非行問題に関心を持ち、ボランティアとして、BBS 活動、非行少年の更生を支援する活動に入り、多くの少年少女と接し、施設整備を決意しました。専農業家の父は、私の熱意を察し、「それでは、俺がやってみよう」と、行動を開始してくれました。ところがオイルショックで物価が高騰、総工費 8000 万円、当時の私の給料は 2 万円。到底できないことと断念、昭和 48 年、24 歳の時のことです。

● 50 歳のとき、再び次世代育成支援へ

50 歳の時、老父母を抱え、老人ホームの整備を決意、県庁を訪問したが、受け付けてくれず、平成 15 年 12 月 13 日、有限会社公益シルバー企画を設立。すると、県は、すぐに窓口を開きました。ところが、老人福祉計画があるということで、これまた断念をせざるを得ませんでした。その後、今、何が必要なのかと、考えた末、老人福祉は大切である。しかし、もっと大切なこと、それは、次世代育成。まじめに税金を納める子どもの育成こそが社会を支える原動力であると再認識しました。

● はなこみちの命名

はなこみちは、花小道遺跡からの命名です。この遺跡は、平安時代の仏堂と思われる建物跡など 7 棟確認されました。この時代、庶民の心の拠り所として仏堂があったものと推測され、花小道遺跡、小字「花小道」から「はなこみち」と命名しました。

● 喜ばしい出来事

この春、中学を卒業した 4 名は、全員高校に合格しました。高校を卒業した 1 名は、専門学校に進学しました。施設からでも大学進学できるということを理解していただきたいのです。きっと幼い子どもたちも進学の喜びを感じているものと信じています。

結びに、社会福祉施設は、地域に開かれた施設としての役割があります。さらに、子どもたちの自立支援に向け、引き続き、地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

「君の笑顔に出会いたい」

副施設長 須藤三千雄

5 月下旬から「はなこみち」で働いています。児童自立支援施設は、長く働きましたが、児童養護施設は初めてですので、よろしく願いいたします。

表題の「君の笑顔に出会いたい」は、私がこの仕事（児童福祉）を一生に仕事にしようと決めたときのモットーです。少しでも、みなさんの「笑顔」作りに参加することが出来たら幸いと考えています。

施設生活の始まりは、皆さんにとって、どのような受け止めであったでしょうか。全員が大喜びで受け入れた訳ではないと思います。今は明るい笑顔で生活を送っていますが、児童相談所等で施設での生活を言われたときは、ほとんどの子どもたちは、さまざまな思いであったでしょう。保護者の方や友人と離れて生活することに、辛いと感じた人もいたのではないのでしょうか。

皆さんがそうした気持であったとすれば、私たち職員との出会いも好ましく受け入れられなかったでしょう。残念なことです。私たちとの出会いは、笑顔から距離のあるものでした。

「はなこみち」は、早寝早起き・自分の事はできるだけ自分でする・好き嫌いのない食事・集団での生活です。「子どもたちの何でも好きにして良いよ」と言ってやりたいときもありますが、できないのです。それが決して、子どもたちの為にならないと思うからです。

毎日の生活の中で、自分を主張することは大切なことです。同じくらい周りの人の話にも耳を傾けることの重要性にも気づいて欲しいと思います。全ての人には主張があります。私たち職員は、いつも、いつでも皆さんの声に耳を傾けたい、皆さんの胸の中にある{イライラ}を解消したいと思っています。心の垣根が低くなれば良いと考えています。今は理解が難しいと思っても、言葉を選びながら、君たちがわがまま過ぎると感じた時は、真面目に生活に取り組むことを求めています。多くの子どもたちは、学習やスポーツや地域活動で元気に取り組んでいます。本当に頼もしく、嬉しく感じています。

私たちは、子どもたちの社会的自立の為には、毎日の精一杯の努力が欠かせないことを訴え続けたいと考えています。もちろん、保護者の皆さまの理解や関係機関の支援が必要なことは言うまでもありません。

大人になることは、自分に向けられた注意や助言を、素直に聞けることでもあります。自分に関心を示す仲間や大人を信頼して欲しいと思います。

能く食べ、能く学び、能く寝てください。まずは自身の健康から・・・。

行事予定(10月・11月)

【10月】

2日	幼稚園運動会 市民体育祭
4日	小学校親善運動会
6日	ケース会議（勉強会）
8日	小学校運動会
13日	ケース会議（勉強会）
19日	職員会議
20日	ケース会議（勉強会）
21日	中学校音楽会
25日	市内小学校音楽会
27日	ケース会議（勉強会）
27日	幼稚園・保育所合同感染症研修会
27～28日	第26回関東ブロック児童養護施設職員研修会
28日	主任研修
30日	ハロウィンパーティー

【11月】

9～11日	第65回全国児童養護施設長研究協議会（埼玉大会）
10日	ケース会議（勉強会）
12日	軽井沢 おもちゃ王国（招待）
16日	職員会議
17日	ケース会議（勉強会）
17～18日	第9回関東ブロック児童養護施設事務職員研修会
24日	ケース会議（勉強会）
25日	児童福祉担当職員セミナー

報恩感謝 善意の寄付

佐野（西大沼）様
加藤 ていこ 様
上机 筧治（田野畑村）様
野坂 哲（八戸市）様
小川 修 様
村岡 彰 様
小暮不動産 様
（株）オータ 様
（株）ゴルフ・ドゥ 様
（株）フェリシモ 様
がじゃまるの会 様
チュチュアンナ 様
セカンドハーベスト 様
日本チャリティー支援協会 様

いつも温かいご支援ありがとうございます。

あなたも活動しませんか？

ボランティアサークル 花小路 会員募集

はなこみちを支援するボランティアグループです。
本格的に活動するため、会員を募集しています。

活動内容

- ① 遊びボランティア
- ② 学習支援ボランティア
- ③ お掃除・お洗濯ボランティア
- ④ 短期里親ボランティア
- ⑤ 農園支援ボランティア
- ⑥ その他

～編集後記～

今回の広報では夏休みをはさんでいることもあり、施設イベントがてんこ盛りで、どのイベントを広報に載せるか迷いました。どのイベントも子どもたちは楽しんで参加していましたので、全て載せたいところだったのですが……。広報には載っていないイモ掘り・植え、地域のお祭りや御神輿・太鼓など本当に楽しい夏休みでした。（大谷、古河、小池、大井）